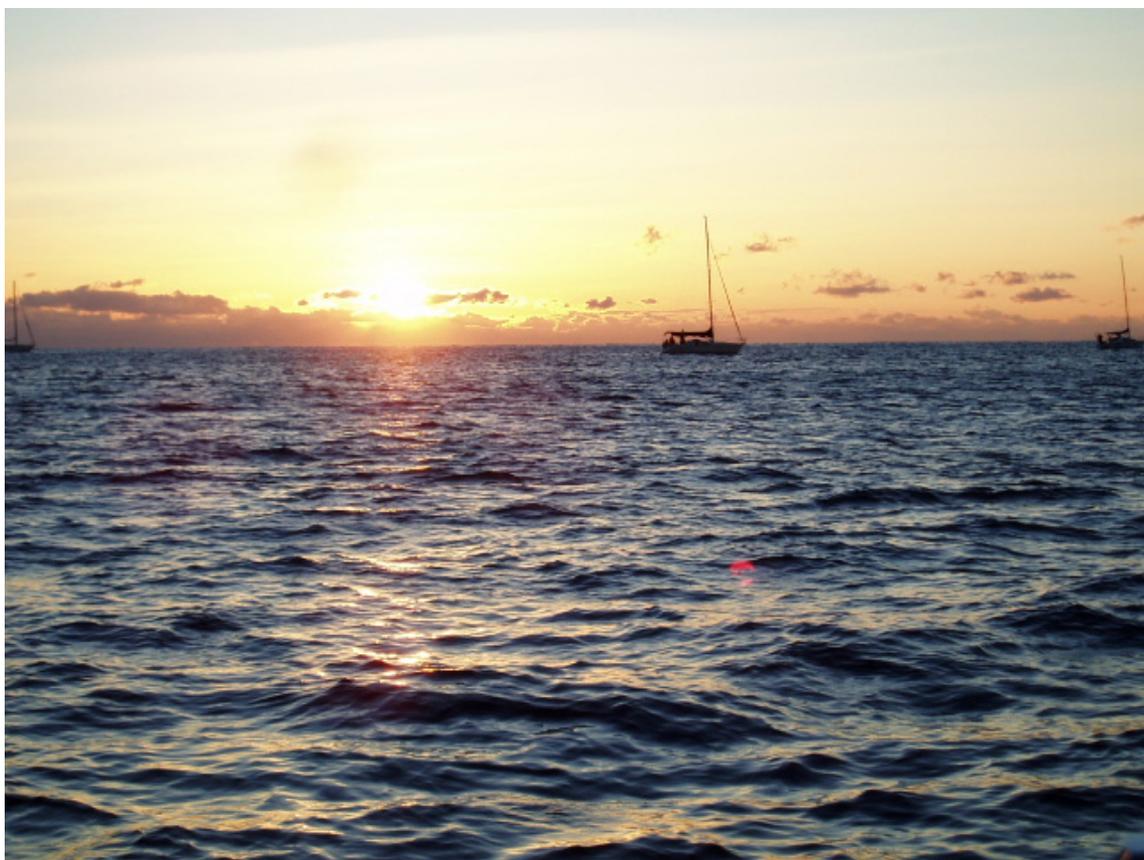


# 日本医師アマチュア無線連盟会報

No.68



「志摩沖の初日」 JH2QBQ 丸山 暢(愛知県)

## MARS会長新年挨拶

JA7AOM 及川 忠人(岩手県)

新年明けましておめでとうございます。全国のMARS会員の諸先生方におかれましては。ご健勝にて新年をお迎えのことと存じ、心からお慶び申し上げます。昨年秋よりアメリカのサブプライムローンの破綻から世界不況の波が日

本にも押し寄せ、自動車、家電等の大企業が人員整理を始めた時期に、新しい年を迎えたのですが、不安と希望を合わせた年明けになったのではないのでしょうか。経済不況の底が計り知れないと言われておりますので、今年は大

変厳しい社会経済状況に我々も遭遇することになるのではと心配しておりますが、MARS会員の諸先生方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げる次第です。

新年1月20日に第44代アメリカのオバマ新大統領が誕生いたしました。小生が高校1年の時に、「たい松は新しい世代に引き継がれた」とアイゼンハワー大統領の後任として就任したJFケネデイの大統領就任演説は今でも脳裏に残る印象的な世界史にも残る出来事であったと思います。ハーバード大学の校歌「春の日の花と輝く」がソノシートとして付録に付いてきて、それを暗記したことも懐かしい思い出でもあります。JFケネデイ大統領は今でもアメリカの精神的象徴として大きな足跡を残しており、リンカーン大統領と共に、オバマ大統領の就任演説の内容や様々な演出に大きな影響を与えているように思われてなりません。

十数年前にワシントンDCで開催された国際リハビリテーション医学会(IRMA)に参加した時、小生の知り合いの息子さんがフィラデルフィアに住んでおられたこともあり、ワシントンからフィラデルフィアへ鉄道で移動したことを思い起こします。ワシントン駅では、出発時刻の20分前ぐらいに、まず列車乗車の案内があり、障がいを持っている人々が優先的に案内され10分ぐらいの間隔をおいて、普通の方々への案内がありました。さすがリハビリテーション発祥の地のアメリカという国は一度皆で決めたことを、率先して守ることが民主主義であると考え、それを当然のこととして実行に移している現場に居合わせたことに感激を覚えたことを思い出します。アメリカではJFケネデイ大統領が自分の

親族の姪に知的障がい者が居ることを公表したので、このことが如何に世界の障がいを持つ親達・家族を勇気づけたかは計り知れないものがあります。

小生は母校大学院の時代にデンマークに1年3か月間、局所脳循環の研究を目的に留学したことがありました。その時には研究に興味を持ち、あまり福祉関係のことを学ぼうとする気持ちが薄い状況でありました。しかしながら、その後リハビリテーション専門病院で仕事をするようになり、もう一度デンマークの社会福祉の現状を勉強してみようと思いこれまで数回デンマークの地域支援体制等の現場で多くのことを学んで参りました。昨年10月下旬に関連社会福祉法人と所属する財団法人から研修団を編成し、デンマークの保健・医療・福祉の現状を視察する機会を持つことが出来ました。特に今回は千葉忠夫先生という、岩手県の一関出身でデンマーク在住40年の学院長が運営する、フン島の北西部のユトランド半島に面する小さな港町 **Bogense** にある国民高等学校 (**Folke Højskole**) である日欧文化交流学院をベースキャンプとして、多くの学びの機会を与えられ感謝でありました。デンマークのナチスドイツ占領という歴史的背景をバックに1959年にノーマリゼーションの考え方を提唱したバンクミケルセンは第二次世界大戦のナチス占領下で「自由デンマーク」という地下新聞を配達中にナチスに捕えられ、ドイツ国境に近い収容所に収容されたことが伝記に記載されております。その時に収容された収容所は現存して記念博物館として公開されておりました。当時の収容所の状況がそのまま残されており、生々しい占領下

の現状が現場と多くの残された資料を通して学ぶことが出来ました。ノーマリゼーションの提唱者であるバンクミケルセンは実はこの收容所に入れられた時のその経験が、戦後に知的障がい者の担当になった時に、ノーマリゼーションに対する考え方を考えだし、また思い知らされたのではないかと想像するものです。デンマークでは戦後になっても知的障がい者は大きな施設に入れられて、人間並みの生活とは程遠い中に收容されて生活せざるを得なかったことを冷静に思い噛みしめ反省してやる必要があると思われまます。

現在のデンマークでは「ノーマリゼーション」も「知能テスト」もそして「IQ」も死語であるとのこと聞いて少なからずショックを受けたわけでございます。ノーマリゼーションの理念は「知的障害をもつ人々が出来る限り健常人に近い環境を配備して生活することが可能になること」を目標と致します。今のデンマークではあまり用いられることが少ないために、ノーマリゼーションは「当たり前の概念」「世間の受け止め方」として意識することが重要でありました。

さて今年の4月18日(土)に本年度の第33

回MARS総会を京都市にて開催するために準備を進めて参りたいと思います。京都の狭山先生を中心に総会運営を3エリアの会員のご支援とご協力で行いたいと願っております。またせつかく京都市で行いますので、有意義なエクスカージョンを企画できれば有難いと考えております。

毎週MDネットに一応顔を出しておりますが、特に今年は太陽の黒点の出現が少なくそのため電波伝搬の条件が極めて悪いことも残念なことであります。幕末の時代に多くの弟子を残した佐藤一斎先生は言志晩録13条に「一燈を掲げて暗夜を行く。暗夜を憂うこと勿れ。只だ一燈を頼め」という言葉を残しております。今年は先の見えにくい年になりそうですが、そのような時こそ我々の目指す真理と希望と夢を大切に一年になるように進みたいと願うもので御座います。MARS会員諸先生方の一層のご支援とご指導とをお願い申し上げますとともにMARS医師アマチュア無線連盟への諸活動への積極的参加をお願い申し上げましてMARS会長としての新年のご挨拶に替える次第です。

## 会員異動

入会 JF3BIE 鍵本 伸二先生 (京都市北区)  
 JF3MTM 柴田 敏弥先生 (大阪市中央区)

退会 JR3SIK 三木 國典先生

(平成20年11月10日ご逝去)

# MARS 会員都道府県別分類

( J A 1 ) 20局				( J A 5 ) 3局			
東京都	JA1FF	JA1BOW	JF1SXY	香川県	なし		
	JK1AIN	JL1BGP	JP1HIS	徳島県	JA5GPJ	JA5POS	
	<u>JH7WKU</u>	<u>JR9FQO</u>		愛媛県	なし		
神奈川県	JH1IAA	JE1TNL		高知県	JH5KAJ		
埼玉県	JR1CDJ	JR1JIC	JE1MMK	( J A 6 ) 5局			
	JL1LRJ			福岡県	JA6BMB	JA6RQK	JH6IBM
茨城県	J11VAH				JG6DAO		
群馬県	JA1KXT	JR1SJD		大分県	なし		
千葉県	JM1BIX			熊本県	なし		
栃木県	JF1EJS	JO1RTV		宮崎県	なし		
山梨県	なし			鹿児島県	なし		
( J A 2 ) 8局				佐賀県	JR6EZJ		
愛知県	JA2DQH	JH2QBQ	JR2AXV	長崎県	なし		
	JG2XEJ			沖縄県	なし		
静岡県	JA2BIV	JE2ANG	JE2KKI	( J A 7 ) 22局			
	JO2DBR			青森県	JA7VAB	JR7BWP	
岐阜県	なし			秋田県	JH7MSL	JE7MMC	
三重県	なし			岩手県	JA7AOM	JA7PPA	JH7IIR
( J A 3 ) 33局					JH7OLB	JH7XGQ	JR7QWT
京都府	JA3ASU	JH3SQM	JH3SQN		JE7EDF	JG7CRJ	
	JH3SRC	JR3HFS	JR3HGY	山形県	なし		
	JR3JJQ	JF3BIE	JF3ITN	宮城県	JA7EVM	JH7CAI	JH7EQW
	JF3NXJ				JH7QFA	JR7CAD	JM7USW
大阪府	JA3BQT	JA3LDH	JA3WKF	福島県	JA7FHH	JA7RTM	JE7GFM
	JH3AEF	JH3MWR	JR3KBI		JJ7BRL		
	JR3LJI	JR3MCI	JE3RZA	( J A 8 ) 4局			
	JF3EKP	JF3MTM	JJ3MIG		JA8FOH	JA8JDQ	JA8RSJ
	JL3SIK				JI8MLV		
滋賀県	JF3PMG	大塚博紀		( J A 9 ) 4局			
兵庫県	JA3XED	JH3GOB		富山県	なし		
奈良県	なし			石川県	<u>JK1QLR</u>		
和歌山県	JH3TCC	JF3JON	J13CIN	福井県	JA9SN	JH9HDD	JE9RWF
	JJ3KUL	JM3BCQ	JN3ASW	( J A 0 ) 4局			
( J A 4 ) 5局				新潟県	JA0CEP	JA0HGN	JH0LME
岡山県	JH4TIC	JE4EWM(exJA5LDZ)			JE0BWH		
	JG4JFW			長野県	なし		
広島県	JH4DPL	JH4UYB					
鳥取県	なし						
島根県	なし						
山口県	なし						

\_\_\_\_\_は他エリアからの移動局  
計 108 局 (2009 年 3 月現在)

## 第33回MARS(日本医師アマチュア無線連盟)総会

日時:平成21年4月18日(土)17:00~

場所:京都ガーデンパレス

京都市上京区烏丸通下長者町上ル龍前町 605 Tel 075-411-0111

総会:次第

平成20年度活動報告等

平成20年度決算報告等

平成21年度活動計画(案)

平成21年度予算(案)

平成20年度アワード抽選

その他 総会議事

特別講演:「手作りの発見」 18:00~

1)「真空管ラジオの製作について」 JR3JJQ 小宮 精一 先生

2)「最近のD-star(デジタル通信)について」 JA3ASU 狭山 信矩 先生

懇親会: 19:00~

4月19日(日)エクスカーション(観光):琵琶湖方面の小旅行

15:00 頃、京都駅で解散予定

### 日本医師アマチュア無線連盟(MARS)の活動と入会方法について

MARS は、1977年(昭和52年)に創設されたドクターハムの親睦のための団体で、既に32年の歴史を持ち、次のような活動を行っている。

#### 1)総会と懇親会

毎年4月の第一土曜日の午後、全国各地で総会と懇親会を開催している。(平成21年は4月18日京都市において開催)

2)毎水曜日の朝、3.568MHz(05:30~06:30)及び7.060MHz(06:30~07:00)付近でロールコール(MD ネット)を行っている。

3)日本医師アマチュア無線連盟会報(MARS ニュース)を年2回発行している。

4)MARS 医学アワードおよびMARS 医学アワードⅡの発行。

5)クラブ局(JM1ZZM)を設置している。

6)MARS のホームページを開設している。

URLは <http://www.jmars.jp/>

(談話室へのパスワードは mars)

事務局:

〒175-0092 東京都板橋区赤塚4-17-11

井上医院内

日本医師アマチュア無線連盟

電話 03-5968-5777

F A X 03-5968-5778

E-mail [fumimasa@cb3.so-net.ne.jp](mailto:fumimasa@cb3.so-net.ne.jp)

会費 : 入会金 5,000 円、年会費 8,000 円

入会方法:事務局にご連絡下されば、入会書類をお送りします。

会長 及川忠人(JA7AOM)

# クラーク博士とその弟子達 講演要旨(2)

北海道大学大学院名誉教授

北海道大学総合博物館前館長

藤田 正一 先生

さてクラーク博士が札幌農学校に招聘した教師は全てマサチューセッツ農科大学の弟子であったことは有名な事実である。その中にウィリアム・ホイラー(1851-1932)が居る。彼は日本国の教育の課題を指摘している。日本人は欧米人と同じ学校で学ばせれば、向学心において、また格好に成績において欧米人に全く引けをとることはない。しかし学校卒業後の進歩においては欧米人に及ばない。日本の「学問」は記憶中心で模倣には長けているが、自ら考え、創造する力が養われていない。理論の理解とその応用実践の能力を養う教育が必要である。したがって思想力なき知識はそれ以上、どこへも行かない。思想力の伴った知識は尽きることの無い資源たりえると指摘している。また明治日本の感想として「国民が国に奉仕すべき」と言うのが、日本の政権の主張であるが、むしろ政府が国民に奉仕すべきではないだろうかと述べ、国家にとって国民以上の財産は無い。全ての自由国家では、重要とすべきは国民が第一で、国は最後である。政府は最上の政府たらんと欲すれば綱に国民に奉仕することを旨としなければならぬと主張している。

またクラーク博士とともに来日した植物学、化学担当のデイビッド・ペンハロー(1854-1910)は陸上競技やスケート等を農学校生徒に紹介し演舞場に時計塔を設置し以後時計台と呼ば

れるようになった。彼はクラーク博士は高い理想、たゆまざる努力、揺らぐことのない目的意識を持つ人であるとクラーク博士を偲ぶスピーチを残し、何が正直で正しいかについて強い信念を持ち、表明することを恐れない立派な人格者であった。さらにウィリアム・ペン・ブルックス(1851-1938)はあらたに観察された事象が、どのような原因によるものであるか、知識と理論から考察し、因果関係を明らかにする能力のあるものは、単に博識であるものよりも遥かに得難く貴重な人材であると指摘している。これらの130年前の開拓使お雇い米国人による日本に対する批判は貴重なものであり、暗記を基本とした日本の教育・学習法を批判し、知識の活用能力育成の必要を説いていて、現代社会にも通ずるものがあると思われる。

さて札幌農学校の教育精神とは何であったろうか。金や地位や名声ではなく、人としてあるべき姿の最高のものを目指し、人格の完成を目指すことを「大志(lofty ambition)を抱け」という言葉が象徴している。また自律的な個、自主独立、責任感をもった大人、人格の完成を目指すし(be gentleman)個人を尊重して生徒をyoung gentlemanとして扱うことを重視した。それはアメリカの独立宣言の精神である自主・独立の精神そして、ピューリタン精神である自由・平等・博愛の精神を中心とし、クラーク博士

の奴隷解放のために南北戦争従軍の意図や、弱者の側に立つ視点があり、ペンハローが指摘する正義を主張する不屈の精神をも含むものであったと言えよう。また勤労を重視することが、札幌農学校の午後の日課として位置付けられ、正当な報酬の卑しからざることを教えている。また札幌農学校出身の新渡戸稲造や内村鑑三が主張した実践しようとした平和主義、机上の学問より実践を重視した実学主義、現場主義を大切にして、暗記より思考力を重視したクラーク博士の弟子達の働きは注目に値して、現代社会の教育の在り方にも貴重な示唆を示すものではなからうか。

札幌農学校の二期生たち新渡戸稲造、内村鑑三、宮部金吾の三人は尊き野心 (*Lifty Ambition*) を持ち札幌を東洋のアテネのようにしようと語り合い、学術文化の中心地・発祥の地のしようと考えたのであった。

その中でもキリスト者として、農学者、法学者、経済学者、教育者として活躍し、武士道の著者また国際人として戦前・戦後を通じて国際舞台で最も活躍した日本人は新渡戸稲造先生であろう。新渡戸稲造先生は文久2年9月(1862年)盛岡藩士・新渡戸十次郎の三男として出生、明治10年(1877年)9月に開拓使札幌農学校に入学している。明治16年(1883年)東京大学入学。その際「われ太平洋の橋たらん」と入学意図を述べている。明治17年9月に米国に留学して明治24年(1891年)米国人メリー・イルキントン嬢と結婚している。同じ年に札幌農学校教授になり、明治27年(1894年)には札幌遠友夜学校を創設している。明治31年(1898年)には「農業本論」「日本農業発達史」そして翌年には英文「武士道」を出版している。大正9年(1920年)には国際連盟事務局次長に

就任し国際連盟知的協力委員会を提案し、アインシュタイン、ベルグソン、キュウリー夫人等と交流した。昭和7年(1926年)2月松山事件が起こり米国に出発している。その年の5月には有限責任東京医療利用組合設立認可を受け、初代組合長に新渡戸稲造、専務賀川豊彦が就任している。昭和8年8月(1933年)カナダ・バンフの太平洋会議に出席した。同年10月カナダビクトリア市ジュビリー病院で死去されている(享年71歳)。新渡戸稲造の影響を与えた学校は遠友夜学校を先頭に10数校にも及ぶもので、特に遠友夜学校は新渡戸稲造と妻メアリーの遺志が濃厚な学校であった。遠友夜学校のビラがあり本校の特色として次のように書いてあります。「世界で一つの学校。これ程どんな人でも入れる学校はありません。働きながら勉強出来ます。いくら年をとっていても差し支えありません。男でも女でもかまいません。いつでも入れます。月謝はいりません。学用品はあげます。先生は諸君の友達です。」その遠友夜学校では1894年から1944年までの50年間に500人の北大生が先生を務め、5000人が卒業しているそうである。遠友夜学校のモットーは「何人にも悪意を抱かず、全ての人に慈愛を持って」” *With malice toward none, With charity for all !*”であり、これは新渡戸稲造が好んだリンカーンの言葉であり、それを校是とした。新渡戸稲造の交際貢献はまた広範囲に及ぶのであるが、その第一は1919年から1926年の7年間の国際連盟事務局次長として事務総長ドラモンド卿の片腕としての活躍である。この間ユネスコの前身である国際知的協力委員会を結成し、オーランド紛争における新渡戸裁定はフィンランドとスウェーデンとの紛争を双方のメンツを立て、住民にも配慮した絶妙の内容

であり、今でもその調停案は注目されている。新渡戸稲造が国際連盟を去るに際して、ドラモンド卿は「不寛容な西洋社会に東洋社会の寛容の精神を紹介し、西洋文明以外にも、それと同等のもう一つの文明があることを実例をもって教えてくれた。真の友 Pass Friend」と送別の辞に称えられたとある。新渡戸稲造はクエーカー教徒としての絶対平和主義を貫き、満州事変の勃発後松山で「今の日本を危うくする者は軍である」との言葉を記事にされて、身の危険を感じるほどのバッシングを受けたことは有名である。新渡戸稲造はカナダ・バンフで行われた太平洋平和会議に日本代表として出席しその岐路ビクトリア市で燃え尽きるように亡くなっている。(1933年10月16日)「よき国際人はよき愛国者であり、よき愛国者はよき国際人である」という自身の言葉をそのまま生きた、まさに太平洋いや西洋と東洋の橋としてその生きざまを残しているとも言えよう。何故今、新渡戸稲造なのかそれは武士道にあるように日本人の精神、伝統的価値観がこれほど凝縮された本は無く、また国民が自信喪失に陥り、しかも豊かで品のない国になりさがっている現実を認識させられたからであろう。これまで日本人が自信を喪失した時に札幌農学校精神が日本人を励ましてきた。開国後の不平等条約等への武士道の世界、日露戦争後の大正デモクラシーの時代、有島武郎の活躍や人権尊重の芽生え、そして第二次大戦後の南原繁、矢内原忠雄、など新渡戸・内村の教え子が生き方の指針を示している。それは個人の尊重(個人主義)に基づく民主主義の基本を示したものであった。またバブル崩壊以後、拝金主義、競争主義、地域格差、「偽」「変」等で表わされた正義感や品格の喪失の時代にこそ、クラークの精神、新

渡戸稲造の「武士道」人格の完成や個の確立に戻そうとする精神こそが札幌農学校精神であろう。また初期札幌農学校教育は保身や損得をかえりみず、弱者や社会のために正義を主張できる人間を育成した。確固たる価値観NOと言える日本人が必要なのである。これらの教育は政権に対してもはっきりものをいう人格を育てた。政権はこれに対し不満と警戒感を持ち、幾度と無くこの学校をつぶそうとした。佐藤昌介の必死の努力でその危機をことごと乗り越え、帝国大学となるのであるが、初期の札幌農学校の学風は薄らいでゆき、もはやNOと言える人物は排出されなくなってしまうのである。やがて政権の意向に従い、キリスト教色、自由主義色を排し、国家主義型教育への転換により堂々たる人物は排出されなくなってしまうのである。クラーク博士は「自由こそが学生たちの胸に大志を抱かせる」またトーマス・ジェファーンは「自由こそが学問と道徳の生みの親である」とその教育の原点を述べていることに注目すべきであろう。新渡戸稲造は教育との関係について貴重な言葉を残している「政治は決して教育機関に干渉すべきではない」(Politics should never meddle with an educational institution)「自由・自主・独立」の精神と、「紳士たれ」、「大志を抱け」の教えこそが内から発する真の道德観や真の愛国心を持った強い子の育ての親であった。それによって己を利するよりは万民のために、国益よりも国際正義のために力を尽くし、支配する側よりも支配される側の、強者よりは弱者の側の立場に立って、自らの保身を顧みず、彼らの救済と正義を堂々と主張する人々を生んできた清き精神の流れが北大にあった。

(2008-05-24 第 32 回 MARS 総会特別講演)

# デンマーク研修報告

## 社会福祉法人カナンの園・財団法人みちのく愛隣協会

理事長 JA7AOM 及川 忠人

### 1)はじめに

社会福祉法人カナンの園と財団法人みちのく愛隣協会との合同海外研修が昨年10月18日～26日に行われ社会福祉法人から4名、財団法人から3名の7名の研修団を構成し、小生は両組織の理事長を兼務している関係から団長として参加したのでその経過の概略を述べ、合わせて研修の要点を振り返り概説したいと思います。

昨年の4月に「デンマークの教育」セミナーが盛岡市で開催された時に日欧文化交流学院院長千葉忠夫先生(デンマークのボーゲンセでデンマーク文部省承認の国民高等学校を運営している)にお会いし、社会福祉法人研修事業計画の研修先をお願いし、快諾を得て今回のデンマーク研修が実現した。2年前から社会福祉法人カナンの園理事長に就任して、北欧の保健・医療・福祉への広い知識の吸収と体験を中心とした研修の機会を設け、若い職員への啓発活動の一貫として位置づけました。

### 2)研修の経過

10月3日に各法人から選出された海外研修団員7名の結団式を行い、さらにデンマークのノーマリゼーションの提唱者であるバンク・ミケルセンの考え方を学びデンマークの基礎知識を共有化した。10月18日SAS直行便で成田からコペンハーゲンまで11時間半で到着した。千葉忠夫先生の出迎えを受け、研修がスタート

し、コペンハーゲン到着後翌日にはスウェーデン南部の古都Lund CityのLund Universityの見学から始まり、翌朝からコペンハーゲンの大切な見どころ国会議事堂やキルケゴールのブロンズ像等を訪ね、ハムレットのモデルとして有名なクロンボルグ城や最も美しいフレデリックスベルグ城を見学し、フュン島のBogenseに着いたのは月曜日の夕方であった。



クロンボルグ城



フレデリックスベルグ城

ここでデンマーク文部科学省が公認する日

欧文化交流学院(フォルケホイスコーレ)をベースにしたユニークな研修が始まり、デンマークの教育・医療・福祉の考え方や歴史を学ぶことになった。この国民高等学校は1844年グルントヴィが創始したもので、全寮制で人生への指針や対話を重視した教育がなされ、開校が1844年であり、すでに160年以上の歴史の実績があり、開校の伝統を今も引き継いでいるとのことであり、デンマークの歴史に大きな影響を与えたことは有名な事実である。



日欧文化交流学院(Bogense)

研修第3日になりの講義が千葉忠夫先生により行われた。

### 3) 国民高等学校に関する講義等:「デンマークの社会、教育、医療制度について」

講義はフォルケホイスコーレの歴史的背景ならびにその機能について簡明なお話であった。またこの学校はデンマーク政府文部省の認可を頂いている施設であることを強調された。その基本条件としては(1)入学資格は17.5歳以上の者。(2)全寮制であること。(3)校長と他のもう一人の教師は学校敷地内に居住すること。(4)試験をしてはいけない。(5)資格をあたえてはいけない。の5つがあり、自由と対話による相互作用が国民高等学校の精神であるとのこ

とであった。

学問とは、試験のためとか、資格を取るためにするのではなく、自分が納得するため、自己形成のためにするのであると教育学者、哲学者であり、牧師だったグルントヴィ(1783-1872)が最初に国民高等学校を創設し、現在のデンマーク全土に90校の国民高等学校が存在する。彼の教育思想は現在のデンマーク教育の根底を絶えず流れ続けているとの要旨を説明した。実際的には個性の尊重と民主主義を熟知させて社会教育を身につけさせることに重点がおかれている。実際に対話となる相互作用とは話し合いによる民主主義の原点となり、多数決のみでなく少数意見をよく聞くことが大切である。デンマークと日本のちがいは何か、 $1+1=2$ のような画一なことではなく、本質的な教育の考え方の違いに大いに学ぶものがあつた。

また学歴主義ではなく実力主義であり、時間を作れる人が国民高等学校に入学することが多いそうである。この国民高等学校の開校は1789年のフランス革命の影響下のヨーロッパにおいて民主主義が啓蒙主義として注目された歴史と同期することに注目すべきであると言う。民主主義は「主権在民」の思想であり、日本も明治維新の時代に外国に学び、西洋諸国の民主主義体制の現場をまのあたりにした、明治時代の政治家は尊敬にあたいするとのことであった。またこの国民高等学校の創立の背景にはデンマーク国民の貧困があつた。またこの時代に1843年にはアンデルセンの「マッチ売りの少女」が発表されまた実存主義哲学の原点である哲学者キルケゴールも活躍したのである。

デンマークでは1812年に義務教育制度が世界で初めて制度化され、国民の教育の必要

性や大地主の下での農民は自由がなく「囲い込み法」(1773年)の廃止運動がなされ1788年フランス革命の前年にそれが廃案となっている。また1884年に農業協同組合が形成されて協同組合における社会的地域的な助け合い運動が展開された。これらの歴史を日本のそれとを対比してみて民主主義の流れとは何であるかが問われていると思う。

ついでに、デンマークの教育制度の概略が説明された。日本では制度ときには義務教育であるがデンマークでは「教育の義務」との表現をしている、その差は何であろうか。それは「教育を与える義務は親にもある」ということである。またこの教育制度の中に試験がないことが特筆される。日本では国をあげて競争社会を実現させようとしているが、教育とは学問を必要とする人を教育することが大切と考える。9年間の義務教育があるが、約半数が自主的に10年生の過程をふむことがあたりまえになっている。日本では何人中何番との評価をするがデンマークではそれをしない。何故点数をつけないのか。教師はそれぞれの画一化されていない個性のある生徒に感性の課題を教える。人に差を付けず、伸び伸びと教育を受けることを大切にすることがデンマークの教育制度である。またデンマークでは高検、大検も存在して学歴社会にならないような制度的配慮がなされている。

現在のデンマークでは医師より助産師になる方が困難であるという。またこれらの制度の背景には高校進学率が極めて30%ぐらいと低く、専門教育課程について現実的な認識が若い人にも普及している。これらの教育制度を支えている考え方は色々あるが、自由、平等、博愛の三つが大切であることは論を待たない。しか

しこの博愛主義の中には「思いやり」、「共生」、「連帯」等の意味が含まれていることに気づく必要がある。

連帯(Solidarity)についての説明をもとめたら、連帯は単に機械的にその恩恵を受けた範囲内での義務の遂行だけではなく、それぞれの経済的負担力の異なる場合には経済的に余裕のある者が多くの負担を持ち、さらにその割合は必ずしも一致しないことに心を留める必要があると思われた。

#### 4) 知的障害者作業所 Ottrupgaard 訪問と Activity Centre 施設長の講義:

知的障害者作業所を訪問したが、その施設長がこの施設の基本方針を説明してくれた。特にこの作業所は何かを社会に生産物として送り出すような役割を果たしていないことを強調した。特にあくまでも注文があればそれに応じるような体制を維持してきている。鳥の巣箱、様々な家庭用品、廃品を利用したバーベキュー用の料理機械等の作成にあたり、かなりの広い活動範囲であることと、施設設備が極めて充実していることは、大きな学びになった。施設長の講義は内容が広く深く教育哲学にまで及び次のようなものであった。



巣箱を作成の工程

講義:学ぶことの大切さ、そのようなプロセスの中で落ちこぼれてしまうような歩みでは意味がない。自信をもって人生を送れるようにサポートするのが我々の役割であると考えている。どんなに障がいがあっても、一つの良い面を見出す努力をすることが大切である。小生は学生時代面白くない授業を受けることが多かった。マイナスな面を忘れるようにして別の角度から彼らに接するためにはどのようにすべきかと考えた。次第に成人してから受けた教育の中に興味付けをしてくれた教師との出会いによって障害者に興味付けが大切であり、作業所では、作業過程の中で何故作るのかそのプロセスを話して理解してもらうことに重点を置いた。抽象的なことはわかりにくいので、口からではなく体で覚えさせるような、つまり Training が Learning になるような過程を伝えることが大切であり、このことは一般の人にもあてはまることである。色々な学びかたがあると思われるが、生活習慣の中での将来の動きを踏まえて行うこと、政治にはそれが一番大切でありその方法を見出すことが大切である。

教育哲学を理解することがその基本として最も重要であると思う。その考え方は三つの基本的な基盤に成り立つと言えよう。これらの考え方は、今後障がいを有する対象者を扱う場合には大切なことであると思われる。

まず第一には Realism である。この考え方はあくまで対象者を組織の一員として考えて一つの目的に向かわせる時に有用である。これらの組織はどうしてもトップダウン方式になってしまうのである。逆にこれらのやり方は中世・日本の将軍時代のやり方に相当する。

第二は Humanism(人道主義)であるこれらの考え方はあくまでも主体者が中心となり人間主

体となりボトムアップを中心として進める方法である。その場合にはセルフコントロールを如何に実現させるか、また、感情表現フィーリングを如何に保持するかが大きな課題となる。しかしながら、これらのプロセスが極めて重要となります。

第三は Dialectic (弁証法的方法)であるこれらの考え方は対話的な方法とも呼ばれ、また主体と客体が相互にバランスをとるような方向で進む考え方であり、システムと人間との関わりのバランスが大きな課題となり、組織としての生産性とそのプロセスが同時に検討すべきことになるのである。

ではこれらの三つの考えのうち最も古いものの歴史的順位をつけてみてはどうですかとの質問に対して、第一の Realism が5票、第二の Humanism が3票、そして Dialectic が2票という結果であった。しかし答えは間違いであり、最も歴史的に古いのは陰陽五行説等の中国の哲学等の第三であり、ついで第二の Humanism がプラトン・ソクラテスの時代のものになる。そして最後は前述したように中世・戦国時代の将軍の時代つまり Realism の考え方となります。特にこれらの考え方はゼロ歳から6歳ぐらいまでは、親、教師、子供が一体となりモザイク状の調和を得ることを目指すべきであり、このモザイク状の考え方は日本人の松下幸之助氏がそのような考え方をもった人であると思われる。また7歳から14歳までは教師の指導力が問われることになる。また第三の Dialectic は高等教育の場において行われるべき方向でありプラス、マイナスを批判出来る状態にその考え方をを用いるべきであると思われる。

デンマークの子供達は何故という質問を続けることが出来る。また自分自身をコントロールす

ることが出来るそのような人を目指すべきであると考えている。自分自身は奥さんが鹿児島出身であるので何回も訪日しているが、日本ではホテルではなく東洋的なお寺または神社に宿泊したいと今でも考えている。

それぞれの個性を尊重して誇りを自覚させながら、自分の障がいを自覚させることが大切である。その上で誇りを教えるべきであり、7つの intelligence を皆が持ち合わせているわけであるから、音楽、絵画等の自分の得意な分野に目をとめて進むべきであると、ハーバード・ガードナーが言っている通りである。したがって国や自治体あるいは会社が発展する場合には様々なそれぞれの施策を批判することを許容出来るような状況を持つところが発展していくと思われる。A+B=C とだけ考えるのではなく、それぞれの個性に応じたプロセスを大切にすることが重要である。しかし急いではならない漏斗にいくら急いで注いでも出てくるものの速度と産物は一定であることを忘れてはならないのである。またこれらの過程の中で重要であることは、少数派の意見を大切にすることである。それぞれの磁石が反発しあうように、意見の相互の交換は進歩をもたらす源泉である。

またプロダクトは黙々と生産性を向上するためにだけ働くのはいけない。色々な意見を聞きながら行うべきである。我々は障がいを持つ方々に関わりを持っているが、デンマークではすでに IQ は死語になっている。一般的には IQ と健常者との関係は IQ90~110を一般健常人としているが、IQ90以下の人々とかかわる先生は楽しくまた positive な驚きが出てくることが多いのである。しかし IQ110以上の方々では社会性に乏しく、情緒が乏しいことが云われている。したがって IQ が高い場合にはその守備範

囲が深いがしかしかなり狭いのである。それに反して IQ の低い方々は情緒が豊かなのである。そのような観点から日本ではどうしてお話するときには口に手を置くのであろうか疑問に思う。

これらの一連のことを感寝ると Learning by doing という考え方が重要でありよく考えてみるとノーマリゼーションの考え方もどうしてノーマルに合わせなければならぬのが疑問として残る。ある精神障害者がデモをした時に「あなたは何？」とのプラカードがあったそうである。例外はもちろんあるが、社会的に問題がある場合にはどうするのか、幸いデンマークの社会ではそのような社会に対する不適応の人は居ないと思う。

## 5) 高齢者センター、ユニットケア訪問

7~8名のご高齢方々が、それぞれ複数の部屋をもち、独立した生活を営むような形式になっていた。それぞれの居住環境をみると極めて立派であると思った。居間と寝室が備え付けられ、自分の若いころの蔵書等が解り易く整理され、しかもエレガントで個性的な部屋がほとんどの内容であった。



高齢者医療センターにて

ドアには郵便受けがあり、サポート体制がしっかりしていて一緒にコーヒーを頂く時間を過ごすことが出来た。特に90歳代の男性も多く、デンマークの美味しいお菓子を頂き、さらに希望があったので日本の歌を披露した。さくら、紅葉、チューリップ、きよしこの夜等を歌った。ご老人達は古い歌詞ブックを参考にしながら、9番と4番を歌った。皆さんが背筋をしっかりと伸ばして最後まで歌いまた聞いてくれたことは感謝でありました。

もう一曲歌ってほしい旨要請があったので、蛍の光を歌った。住民の方々はもう一度自分たちのデンマークの歌を歌いそれに応えて下さった。世代を超えてまた国境を越えてこのような交流の場がもたれたことに、参加者全員は感謝で一杯であった。

また岩手県からの訪問の記帳が必要であるとのことで、歴代の訪問者記念の記帳をした。

## 6)おわりに

最後の研修の日、デンマークとドイツ国境付近にあるナチスドイツの政治犯を収容した収容所を訪れた。Bank-Mikkelsen が収容されていたところであった。Fleslev Camp は1944年から1945年まで数千人のデンマーク人がナチスドイツの政治犯として収容されていたところが、今でも現存し保管されている。これらの現実をみせられて、第二次大戦のすさまじさの一端を知ることが出来たことはとても意義が深いと思われた。それにしても東アジア付近の国際関係が複雑な現状と課題を思うとき、この Camp から学ぶ教訓はとても大きくこの訪問から学ぶべきものは何なのかを問い直すことが必要なことであると思ひ、この研修旅行の最終に貴重で有意義な企画に感謝あるのみであった。



## バンク・ミケルセンも収容されていた収容所

学院での最終日の夕食後にデンマークの学生は他の行事があったが、最終懇談会がもたれた。まず最初にリトアニアの学生さん達を通して、今回参加した我々日本からの短期参加者への参加証明書を受け取ることが出来た。それは予想していなかったことであり大変感激を覚えました。ビール、ワイン、シナプス、Gammel Dansk 等を楽しみながら、ゲーム、各国の代表的な歌を披露しあうことが出来た。またリトアニア、チェコ、ネパール、インドの学生も楽しく歌いまた踊り時間の過ぎるのを忘れたのでした。特にインド、ネパール、リトアニアの学生さん達の素晴らしい郷里の歌の紹介等のハッスルぶりに楽しさが増した。まさにデンマーク国民高等学校の中であるからこそこのようなことが可能であると思ひ感謝で一杯であった。我々のグループは浜辺の歌、ふるさと、坂本九のレッツダンスを歌い踊った。最後の感謝の言葉を突然であるが千葉先生から小生に指名を受けた。慣れない英語のスピーチで十分な表現が出来なかったが、この地域に根差した素晴らしい保健医療福祉体制を学ぶことが出来たことを心から感謝申し上げた。また表現が不十分であったので、学生時代から好きな映画 Sound of Music から「Edelweiss の歌」を英語で歌い、祖国とともに、

この日欧文化交流学院、国民高等学校のさらなる神様からの祝福があるようにと祈りをこめて歌い、挨拶とした。続いて各国からそれぞれの国の別れの歌が披露され、素晴らしい国際交流の懇談会が盛会裡に終了し有意義な研修行事の一切がこれで終了した。これらの研修の設定とスケールの大きな学びの機会について、あらゆる面からのご支援とご協力頂いた日欧文化交流学院の方々と千葉忠夫先生に感謝あるのみであった。



日欧文化交流学院での研修修了記念

## JH2QBQ/MM 丸山先生ご夫妻の 屋久島クルージング 8

5月19日 一週間ぶりに太陽が顔を出す。福元さんの車に同乗して森の詩季へランチに行く。船に帰って間もなく又土砂降りの雨、風も強まる。明日は久しぶりの晴天が期待出来そう。宮崎交通の観光バスで青島方面観光の予定。  
5月20日 雲1つ無い晴天、タクシーでシェラトンリゾートまで行き観光バスに乗る。先ず青島に行くも風強く帽子が吹き飛ばされそう。青島神社に参拝する。次は見晴らしの良い堀切峠、海の色はコバルトブルーで美しく鬼の洗濯板と言われている岩盤も見事でした。ついで鶴戸神社に立ち寄る。長い階段を降りた祠に神社があり航海の安全を祈願する。運玉をしたの岩の凹みに投げる遊びがあり、私は駄目でしたが家内は1つ入って大喜び。帰りは長い階段を上がってきて汗びっしょりとなる。最後は飢肥(おび)城址散策、お城は残っていませんが立派な城壁などは当時のまま残っていて、さすが五万石の城下町を忍ばせます。九州の小京都と呼

ばれているそうです。歴史資料館等を見学する。最後に時間があつたので四半的と言う弓を引いてみました。これは的までの距離4間半、弓矢の長さ4尺半、的の大きさ4寸半と言う小型の弓です。10本中3本命中し初めてにしては上出来と言われました。帰りはバスガイドさんの好意でマリーナ近くで降ろしてもらいラッキーでした。いよいよ明日は細島です。



堀切峠

5月21日 早朝よりヘリの爆音すさまじく目がさめる。マリナー前の広場がヘリの臨時給油場所となり、ヨットの上をヘリが超低空で飛んでいきます。7時宮崎出航細島に向かう。ひさしぶりのベタナギで5時間30分で着く。

5月22日 今日は土佐清水まで70マイルの航海。早朝5時出航暫くは潮に乗り7ノットオーバーの順調な滑り出しでしたが、豊後水道真中にかかる頃から波、うねりとも高くなりパンチング激しくなりしぶきがコックピットを飛び越すようになる。3時間ばかり我慢の航海でしたが沖ノ島を過ぎる頃から波も静かになり10時間かかって土佐清水に着きました。ハッチを閉め忘れたため海水が飛びこみ大変なことになっていました。波に揉まれながら拭き掃除をしていたら少し船酔いしてしまいました。隣に私達より少し早く宮崎から着いたパワーボートがいましたが、豊後水道真中あたりではボートがひっくり返るのではないかと怖かったそうです。早速風呂に行き疲れを取り、みやびにて外食する。刺身の盛り合わせ、豚トロイタメ、シャコテンネギマヨ、ホタ

テの串揚げと久しぶりの豪華な夕食でした。

5月23日 今日は朝から雨なので休息、トップにてモーニング。雨で行く所も無いので図書館に行き読書する。灰谷健次郎の島にてを読む。帰りには私の傘が無くなっていました。買ったばかりの立派な傘でしたがそれが災いしたようです。代わりにみすばらしい傘を貰ってきました。午後隣のボートの南藤さんとトップにてコーヒーブレイク、私より2歳年上ですがお元気で話が合い楽しい一時を過ごしました。明日は室津に向かいます。



青島

## 屋久島クルージング 9

5月24日 5時土佐清水出航する。足摺岬を回る頃はローリング激しいも其れ以後潮に乗り7ノットキープ、四国沖は風向が絶えず変わり又後ろ斜めからのうねりで船は大きく揺れている。11時間かかってやっと室津に着く。いつもの漁船の間に泊める。着いて間もなく太陽丸の船長さんからお風呂に入りに来る様電話がある。早速お邪魔すると(わしもう帰るきに)と発電機の止め方と部屋の鍵を渡されて帰ってしまった。私達だけでのんびり大きな作業船のお風呂につき、洗濯をし、久しぶりにテレビを見たりし

てヨットに戻りました。

5月25日 3日後には低気圧が近づくので、それまでには那智フィッシャリーナに着きたく、紀伊水道を横断して和歌山の周参見に向かう予定でした。早朝から東の風が強く、漁から帰った漁師さんに尋ねると、この強風で室戸岬を東に向かうのは無理と言われてあきらめていましたが、10時頃より風も収まったのでオーバーナイトで志摩まで帰ることにする。波の状態は相変わらず悪くパンチングの連続、なんとか室戸岬をこすと潮に乗り最高9ノットまで艇速が上が

る。紀伊水道の真中あたりを過ぎた頃から夜となり、東風も強くなってきた。なにも見えない真っ暗闇の中で突然白波がヨットを横倒しにする回数が多くなってきた。デッキは海水が川のように流れている。艇速も時々3から4ノットに落ちるようになってきた。これでは潮の岬を越すことは不可能と判断して周参見に入る事にしました。夜間の入港は初めての事でしたので心配していましたが、港入り口の灯台は数マイル先から確認出来、又近づくと赤、オレンジ、白とゆっくり色の変わる道標灯が確認されこれを41度に入ると無事入港できました。真っ暗闇のなかでヨットを岸壁にとめるのには、いつもの2倍以上時間がかかりました。昼におにぎりを1つ食べただけでしたが、すっかり疲れてパンを少しとミルクティを飲んだだけで寝てしまいました。

5月26日 朝起きて直ぐ外防波堤に登って外

海の様子を見る、波の状態は昨晚より大分収まっている様子。明日は低気圧が近づき大荒れとなるので、なんとしても今日中に那智まで行きたい。7時30分出航する。潮の岬に近づくとうねりも大きくなり時々大波を被るが昨夜に比べればたいした事は無い。ローリングも大きくなるが無事潮の岬を廻り、大島を過ぎる頃になるとうねりも収まってきた。1時15分那智フィシャリーナに着く、予定どおりここで低気圧をやり過ごす。やれやれでした。

今回のクルージングは事のほか波の状態が悪く、いつも両足両手でふんばっていましたが腕の良いトレーニングになりました。しばしば指がつって困りました。やっと後ワンレグ残すのみとなりました。やれやれです。これから丹敷の湯に入りに行きます。

## 屋久島クルージング 10

下書きの第9報があやまって送信されてしまいました。本当はこの10報と一諸に送るつもりでした。周参見の夜間導灯グリーンがオンコースです。変な事書いてしまいました。

5月27日 早朝より雨と強風、うねりがまともに入り船に居れないのでオイルスキンを着て電車に乗り勝浦に行く。喫茶(菜の花)にてチーズケーキでコーヒーブレイク、中々雰囲気の良いお店でした。ホテル浦島にて入浴、入浴料1000円は高いと思いましたが、ランチバイキングとセットで1500円はお値打ちでした。忘帰洞に入るも露天風呂からの眺めは、荒波が目の前で大きく崩れしぶきがかかるほどで壮観でした。こんな時ヨットを出していたら大変だろうなと思ひながらのんびり漬かっていました。帰りコンビニ

にてパンと夕食を買って帰る。



勝浦の足湯

5月28日 天気回復し太陽が顔を出す。又勝浦まで行き昨日寄った(菜の花)にてランチを頼む。フワフワオムレツのデミグラソース添えてソースとオムレツのマッチングがよく美味でした。

漁港に行き汐見丸の文さんを探すが入港してない模様、帰り足湯に入るも中々気持ちが良い。丹敷の湯に寄り船に戻る。横抱きさしてもらっているサンタマリアのキャプテン森さん来艇、元々はヨットマンで今はトレーラータイプの船に乗っている。同じ海の仲間として話がつきませんでした。

5月29日 早朝6時出航ホームポートに向かいます。2m一寸のうねりが残っていてローリングあり、艇速が出ないので10マイル程沖出しする。やっと6ノットのスピード、9時間30分かかってやっと志摩ヨットハーバーに着く。潮鵬の木村さんがもやいを取ってくれる。潮鵬にてコーヒーをご馳走になる。何時もの事ながら夕食に招待される。疲れているので本当に有りがたい。



数少ない短パン姿です

今回の航海は天候に恵まれず、波の状態も最悪で岬を廻る度に波に叩かれ苦労しました。太陽が顔を出したのも3回ほどしかありませんでした。其れ以外は雨か曇りの天候でした。こんな事も神様が与えてくれた試練だと思って耐えてきました。家内ももうロングはこれが最後ですと言っていますがどうなる事やら.....

長い間私の勝手なメールにお付き合いして頂き有難うございました。これを持ちましてつたない航海記の終わりといいたします。

## 庶務とMARS ニュース

入・退会、コールサイン、住所の変更などの事務手続きはMARS事務局へ。

(事務局)

〒175-0092 東京都板橋区赤塚4-17-11

井上医院内

日本医師アマチュア無線連盟

電話 03-5968-5777

F A X 03-5968-5778

E-mail fumimasa@cb3.so-net.ne.jp

MARS ニュースへの御寄稿は、

〒640-8331

和歌山市美園町5-1-8山榮ビル3階

眼科田中クリニック内 MARSニュース編集部

電話 073-427-3010

F A X 073-427-2135

E-mail marsnews@tanakaclinic.jp

まで、E-mail または CD-R、フロッピーディスクの郵送でお送りください。

なお、紙面の都合により、原稿を短縮させていただいたり、写真の選択やトリミングをさせていただくことがありますので、ご了承ください。

## 日本医師アマチュア無線連盟会報

(第68号)

発行：日本医師アマチュア無線連盟

発行日：平成21年4月1日

編集：田中憲児(JF3JON)

印刷：西岡総合印刷株式会社

Tel073-425-1341 Fax073-436-0855

URL <http://www.nishioka.co.jp/>

E-mail [info@nishioka.co.jp](mailto:info@nishioka.co.jp)